



未来に敏感、人が中心

商工会は行きます 聞きます 提案します

第264号
平成25年3月

年6回1・3・5・7・9・11月
の末日発行

定価120円

会員の購読料は会費に
含んでおります。

商工会やまなし

SHOKOKAI-YAMANASHI

■発行所／山梨県商工会連合会 ■発行人／会長 小林 寛 樹 ■住所／〒400-0035 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館3F
■TEL／(055)235-2115 ■URL／<http://www.shokokai-yamanashi.or.jp/>



ACTION
地域を元気に 商工会

グルメガイドで新メニュー続々! 上野原グルメ散策「旨ッ!うえのはら」 (上野原市商工会)

自然豊かな山々を有する上野原市は、隣接する大月市やJRと共同で「トレッキング」による観光誘客を進めている。

ハイキングを楽しんだ後は、地元のおいしいグルメで楽しい一日を過ごしてもらおうと、上野原商工会では、市と連携して市内のおススメグルメを紹介するガイドパンフレットとして「旨ッ!うえのはら」を作成。15000部を印刷し、昨年10月から配布を始めている。

掲載されている店舗は12店舗。どの店舗も個性あふれる自慢の逸品を掲載しているが、このうち8店舗の掲載商品は、この事業をきっかけに開発された新たなメニューでもある。

これには商工会の取り組みのちょっとした工夫がある。(10Pに続く)

CONTENTS

- 2P 平成25年度事業計画が決定
臨時総会開催
- 3P 地域の魅力を全国へ
～全国展開支援事業を実施～
- 4P・5P... 優れた経営指導事例を発表
- 6P BCP普及活動報告
青年部・女性部
中小企業等金融円滑化相談窓口
のご案内
- 7P 地域の伝統行事が復活
～南アルプス市 十日市～
- 9P 人のうごき
- 10P 商工会なう 上野原市商工会
しあわせ調査員のクチコミ情報



■平成25年度 重点項目

I 商工会組織運営に対するサポートの徹底

商工会は会員事業所の経営のサポートと商工会地域の産業を振興することにより、地域経済の活性化に貢献する。商工会がこうした活動を効果的に実行できるよう、商工会の組織運営の充実を図ります。

主な取り組み

- 支援人材の育成
- 支援環境の整備推進
- 財政計画策定支援などの財政基盤強化

II 中小企業・小規模事業者の経営基盤安定化に向けた組織体制の強化

経営支援体制の強化と組織の繋がり力（チーム力）を活かした経営支援が発揮できる仕組みづくりを行い、地域経済を支える中小企業・小規模事業者の活力を引き出します。

主な取り組み

- 専門家派遣制度を活用した個別企業の具体的支援
- 各種支援施策を活用した企業力向上支援
- 観光情報・商品情報等のデータベース化並びに情報発信支援
- ネット de 記帳による記帳継続指導と自計化の推進

III 中小企業・小規模事業者の課題抽出と解決に向けた具体的支援

ものづくりや海外展開等への新たな挑戦・販路開拓支援、経営改善計画策定等による事業再生に向けた支援、経営革新計画策定支援、事業承継計画策定支援、BCP策定支援を商工会が積極的に行えるよう他の機関とも連携し、広域的な支援体制の構築を図っていきます。

主な取り組み

- 経営支援チームの設置による経営課題解決に向けたサポート体制構築
- 企業の再生・経営改善取り組み支援と資金繰り円滑化支援
- 経営をサポートする共済制度の推進
- 消費税率引き上げに伴う価格転嫁円滑化等の支援

三月二十八日、山梨県商工会連合会の臨時総会が開催され、平成二十五年度の事業計画・予算を決定した。

昨年八月には、中小企業の経営課題の多様化、複雑化に対応するため中小企業経営力強化支援法が施行された。この法律は、中小企業の支援事業を行う者を認定し、その活動を後押しするものであり、県内では金融機関・税理士など八十三機関

が認定された。県連もいち早く対応し、県内二十三商工会とともに法認定を受けたところである。

平成二十五年度は商工会が、これら支援機関の中心的組織として、五十年以上にわたり培ってきた支援ノウハウとネットワークを活用し、



■数値目標などについて説明を行う小林会長

商工会連合会臨時総会開催

地域に密着した支援機関の責任を果たす

平成25年度事業計画を決定

会員事業所の期待と信頼に応え、地域に密着した支援機関としての責任を果たすべく、左記の三テーマを重点項目として事業展開していく方針。



ITでことしませんか？

イイこと大好き
e-came 君



ソフトウェア開発/販売/ネットワーク/教育

株式会社

Ysk e-com

www.ysk.co.jp

本社 〒400-8560 山梨県甲府市湯田1-13-2 tel.055-236-1111 fax.055-236-1166
 Do-KASUGA 〒400-0032 山梨県甲府市中央1-20-18 tel.055-236-1111 fax.055-208-1122
 支店 〒105-0021 東京都港区東新橋2-9-2 7階 tel.03-5401-1022 fax.03-5401-1060

山梨の魅力为全国へ！

山梨市商工会

乙女湖周辺の自然を活用した
様々な体験プログラムを提案！

乙女湖（標高 1,464 m）周辺の新たな観光地開発に向け、乙女湖の湖面及び周辺の利活用調査、地元食材を活用した地域料理研究を実施。実地踏査を行なった結果、「カナディアンカヌー」、「釣り」、「バギー」など様々な体験プログラムが提案された。また、地元食材である巨峰とジビエ料理（甲斐サーモン・鹿肉）のコラボ料理も開発。



平成24年度

地域力活用新事業∞ 全国展開プロジェクト

商工会・商工会連合会が小規模事業者等と協力して地域の資源を活用した特産品開発や観光開発などに取組む「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」。

今年度、山梨県では、6事業の採択を受け補助事業を実施しました。

笛吹市商工会

「ぶどう」を合言葉に
笛吹市の魅力発信！

生産量日本一を誇る「ぶどう」をキーワードとした笛吹オリジナルの魅力を観光客に提供する「ぶどうEXPO 2012」を開催。期間中、市内の観光農園、飲食店、旅館、商店など参加店による様々な特典を提供するなど地域ぐるみで取り組んだ。また、3ヶ年に渡る事業の振り返りとこれからの笛吹市の観光について考えるシンポジウムを開催。



北杜市商工会

増富の魅力を地域住民が
一丸となって提供！

増富地区のラジウム温泉を中心に、森林、溪流、湯治といった豊富な自然や文化を活用し、「地域住民とお客様が一緒に作り上げる」体験、体感型イベント「増富温泉博覧会2012」を開催。温泉の女将たちが持ち寄った自慢の料理を味わえる「女将食堂」、民話コースを案内する「増富民話ラリーめぐり」など、様々なイベントを展開。



身延町商工会

まるごと本栖湖を楽しむ
体験プログラムのPR！

昨年度開発した「富士山・本栖湖エコツーリズム」の体験プログラムを観光商品として全国に販売するためのパンフレットやWEBサイト等を作成するとともに、運営を担う「本栖湖アクティビティセンター」を「本栖湖いこいの森キャンプ場」に設置した。モニターツアーとして、「スタンドアップボード体験」、「ダイヤモンド富士観察会」などを実施。



市川三郷町商工会

大塚にんじんを活用した
のっぴいメニューを展開！

市川三郷町大塚地区の肥沃な土地「のっぴい」で採れた「大塚にんじん」を使った「うま〜い丼」、「おすいぼん」、「ゼリー」、「サンド」の4種類のメニューを販売。町内の8つの飲食店や企業が参加し、全種類食べると「ハローキティ&市川三郷レンジャーコラボタオル」がもらえるスタンプラリーを実施した。



安心を明日につなぐ

3つの特色で皆様の企業を
パワフルにバックアップします。

○ **安い掛け金**

○ **簡単な手続き**

○ **迅速な支払い**

中小企業者のための 火災共済

普通火災共済

総合火災共済

新総合火災共済

休業補償共済

山梨県火災共済協同組合

甲府市中央1丁目12番37号
IRIXビル3F

☎ (055) 235-7564

山梨県 商工会連合会

山梨の魅力満載の
新メニュー誕生！

丸の内シェフズクラブの5人と山梨県内シェフ23人が共同で、県産食材を使った新しいメニューを考案。桃やスモモなどのフルーツなどを使った料理が、8月22日～9月4日まで、東京・丸ビル1階「丸の内カフェ ease」のランチメニューとして登場したほか、県内シェフの店でも提供された。



地域を
元気に!

商工会職員が 経営指導事例を発表

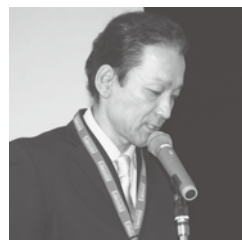
一月二十五日、アイメッセ山梨において、商工会経営支援等先進的支援事例発表会が開催された。中小企業金融円滑化法の終了を控えるなど、益々厳しい経済環境状況にある会員企業の為に、職員の支援能力を高めてもらおうと実施しており、今回で三回目となった。

当日は、県下商工会職員はもとより、県、市町村担当職員や商工会議所、中小企業団体中央会、金融機関、やまなし産業支援機構の職員等、総勢約九十名の参加があり、商工会の経営支援活動について理解を得る機会ともなった。

発表は、商工会の職員として企業の支援にどのように取り組んだのかなど、プロセスを中心にしたもので、身近な事例だからこそ、聴講者が現場で使える（活かせる）内容であり、先進的支援事例の共有・商工会職員のスキルアップに繋がる場となった。

事例 1

事業推進にあたっての 人的ネットワークの構築



中央市
商工会

副主査
市川 高人
経営指導員

中央市とえば、県内生産量一位を誇る「トマト」がある。中央市商工会青年部ではこの地元産のトマトを使った商品開発・新ブランド開発・まちづくり活動・広報活動に取り組んでいる。この活動の中で開発された、市内外の一般の人にも知られているのが、完熟トマトとフジザクラポークをじっくり煮込んだミートソースを、焼そばにたっぷりかける『青春のトマト焼そば』である。

市川経営指導員は、これら一連の地域振興活動を青年部員と共に携わってきた。

本事例のように地域を活性化させようと、地域資源を活用した特産品の開発と普及への取り組みは、県内各地において行われているが、この事例は地域全体を巻き込んだ一大事業と言える。事業推進にあたっては、青年部と共に課題を掲げ、それぞれ解決を図る中で、事業を推

進して行った。また、市川指導員は、自分の役割（特に対外交渉）を認識して積極的に取り組んだ。その根幹が人的ネットワークの構築と拡大であった。一つには、行政（中央市）に深い理解と協力を得られた事である。青春のトマト焼そばをイベントで販売する時には、行政の職員が協力してくれるなど、商工会の事業を理解して頂き、行政からの協力体制も構築している。

また、本業の商工会の経営指導員というスタンスもきちんと保ち、商工会の存在意義を高めた事例であった。



■ 青年部の活動の様子
青年部の熱意が地域全体の活力となった。

事例2

下請けメーカーから元請けメーカーへ
直販による利益拡大支援都留市
商工会

指導課長補佐

坂倉 稔

経営指導員

都留市内には機械金属業を中心とした企業が存在し、その多くが下請け企業というのが現状である。

今回の坂倉経営指導員の事例は、従来の下請け企業が自社の強みを生かして開発したLED直管型照明を都留市商工会が平成二十一年度より取り組んでいる「都留工業交流展」への出展を機に、自社ブランド製品を生産し、販売していく上で、あらゆる方面から支援を行った事例である。

脱下請けは中小企業、とりわけ製造業にとっては、夢であり大きなテーマである。坂倉指導員は企業からの相談を受け、その実現に向けて支援対象企業の強み（商品開発力）と弱み（営業力）に向き合い、LEDの特性である省エネについて、震災後節電が求められている状況を踏まえ、これをビジネスチャンスに捉え、各種支援施策を活用する中で、

弱み（営業力不足）を補完する支援を行った。

坂倉指導員が行った販売に至るまでの販売ツールの取得や、販路拡大支援などいろいろな支援の中で、特に成果が得られた支援としては、山梨県の施策の一つである「やまなしトライアル発注商品認定制度」への申請を支援し、山梨県知事の認定を得た事である。また認定後、県東部の公立中学校などに、本製品が大量に納入出来た事が大きな成果として挙げられる。

的確な施策の選択はもとより、支援にスピード感があり、企業もこの支援に応じ、元請けメーカーとしてスタートを切る事が出来たという事例であった。



■支援先のクボタ電子(株)は、第1回から第4回までLED照明器具を出展し、技術紹介をしながら、LED照明器具の市場を探ってきた。

事例3

記帳データを活用した
経営改善計画の提案北杜市
商工会

総務課副主査

小泉 圭一

経営指導員

振興課主事

船山 好美

記帳専任職員

中小企業経営力強化支援法の施行によって支援機関のすそ野が広がり、商工会の存在意義・生き残りが真剣に問われているなどの背景がある中で、北杜市商工会では、今まで以上に職員が資質の向上を図り、経営支援能力を向上させていく事が必要であると考えている。

その中で、記帳専任職員が行っている記帳代行業務も今迄と同じような事をやっているだけでは、会員企業が商工会に望む経営改善支援に応える事が出来ないということから、記帳代行先の事業所に対して、税務指導に経営支援を付加するという支援である。これは、記帳代行業務から得られた記帳データを経営指標として提示し、ヒヤリングを行いながら経営課題を把握し、その後課題に対する経営改善提案を行うとい

う、よりレベルアップした経営支援を経営指導員と記帳専任職員とが連携し取り組んでいるという事例である。

また、事業所に対する提案終了後、商工会内で、経営支援事例発表会を開催し、それぞれのような改善提案を行ったのか、職員間で情報の共有も行っている。

北杜市商工会はこれまでの職種の垣根を取り払い、経営指導員の人員削減で低下が懸念される会員支援力を補完すべく、職員が一丸となって経営支援に取り組み、組織的に会員支援力のアップに努めているものであり、この取り組みは、今後の商工会活動の一つの指針になるのではないかと思われる。



■経営支援事業所で経営改善提案を説明

70企業がBCP（事業継続計画）を策定

H24年度
BCP
策定普及事業

商工会及び商工会連合会では、BCP（事業継続計画）策定の普及促進を平成 24 年度の重点事業に掲げ、支援強化に取り組んできた。

具体的な普及方法としては、平成 24 年 2 月～平成 25 年 1 月末までの 1 年間、8 商工会と連合会で計 10 名の BCP 普及員を採用し、県内会員企業を中心に、期間中延べ約 9,800 回企業を巡回して、BCP の普及に努めた。また、BCP 策定を希望する企業に対しての策定支援については、商工会の経営指導員とネットワーク強化事業のネットワークアドバイザー等が、*『山梨県版 BCP 策定マニュアル』を活用して、BCP 策定に取り組んだ。平成 25 年 2 月末現在において、計 89 件の企業から BCP 策定支援依頼があり、内 73 件が BCP の策定が終了し、2 件に対して策定支援中である。BCP 策定に取り組んだ企業から「BCP を策定したことにより、自社の経営資源や中核事業がはっきりし、中長期経営計画の作成にも役立った」との声があった。

従業員や家族の安全…
顧客からの信用…
売上げの維持…
本当にうちの会社は大丈夫だろうか？



商工会指導力の充実図る 経営支援員を認定

多様化・高度化する経営支援ニーズに対応するため、商工会の補助員・記帳専任職員などから、熱意ある職員を「経営支援員」に認定する人事制度がスタートした。

この度、下記の2名が初の「経営支援員」の認定を受けた。今後は2年の研修期間を経て経営指導員への登用を目指していく。

- ・桂原 珠美（南アルプス市 記帳専任職員）
- ・近藤美左子（南アルプス市 記帳専任職員）



初の「経営支援員」に認定された桂原さん（右）近藤さん（左）

*『山梨県版 BCP 策定マニュアル』とは、BCP 策定の第 1 歩として、中小企業の経営者が、従業員と一緒に自社の BCP を策定し、日常的に運用変更出来るように、山梨県商工会連合会が、「中小企業庁策定運用指針」を基本にして、必要事項を記入様式に絞り込んで作成したものです。

全国大会で感謝状贈呈

青年部連合会

去る 2 月 6 日・7 日に徳島県にて開催された青年部全国大会において、青年部活動に対する貢献を高く評価され、元鰍沢町商工会青年部長の深澤一正さんに感謝状が贈呈された。深澤さんは、合併し富士川町商工会となった以降も、商工会の理事として活躍を続けている。



全国大会感謝状贈呈
（右から 4 人目が深澤さん）

中小企業等金融円滑化 相談窓口のご案内

経営課題の解決に専門家を派遣します

中小企業金融円滑化法の終了（本年 3 月）に伴い、中小企業の経営環境への影響が懸念されています。商工会は、中小企業等金融円滑化相談窓口を設け、資金繰りや企業体質の強化に向けたあらゆる課題について専門家を派遣し企業を支援しています。



例えば

資金調達・債権回収に
悩んでいる

取引先が
倒産してしまった！

財務内容（資金繰り）の
見直しについて相談したい

企業再生に
取り組みたい

御希望の方はお近くの商工会へご相談下さい。

やまなし環境財団へ 寄付金贈呈

女性部連合会



女性部連合会は、地域の環境保全へ貢献するため、「商工会まつり」で開催した女性部バザーの収益金の一部を、やまなし環境財団へ寄付した。原田重子県女性連会長と河野勝恵副会長が県庁を訪問し安藤理事長に寄付金を手渡した。

ふるさとの伝統の灯を消すな

『商工会力』で十日市復活

故郷に二年ぶりの「春」がやってきた。

南アルプス市若草地区の伝統行事「十日市」。四〇〇年以上の歴史を持つこの祭典は、甲府盆地に春を告げる行事として、永く地域の人々に親しまれてきた。そんな歴史ある十日市が中止となったのは昨年のこと。暴力団対立の影響を受けてのことだった。

多くの人々から開催を望む声が湧き上がる中、今年は「十日市」の復活が決定。そして、この復活を支えたのは地元の南アルプス市商工会。最大の難問である出店調整を始め、イベント全体を統制した。

『生まれ変わった十日市』と銘打



■大勢の来場者ににぎわう十日市

象は変わったが、商工会が入っているのが安心して買物できる」と笑顔。大きなせいろを購入した女性客は「このサイズのせいろは、ここでないと思えない。さすが十日市。」とご満悦の様子。出店者も喜びの声。三十年以上出店してい

ち開催された祭典には、二日間、過去最高となる約十四万人が訪れた。

開催の陰には商工会の並々ならぬ努力があった。特に厳正を期したのは出店者の管理。全出店関係者について暴力団関係の有無をチェック、その数は延べ千人におよんだ。出店者会議も二回開催、入念に打ち合わせを行うとともに、店先に掲げる出店許可証も顔写真入りとした。

商工会のネットワークも祭典を盛り上げた。南アルプス市商工会からの呼び掛けに応え、県内各地の商工会の会員が多数出店参加した。

祭典当日は、喜びの声であふれた。地元から来た男性客「従来と少し印

るといふ身延町の小林吾一さんは「二年ぶり（でも）馴染みのお客さんが来てくれた。みんな喜んでいよ」と感慨深そう。



■ベテラン出店者の小林さん「おなじみさん」が大勢おとずれた。

出店者の一人、佐野富喜江さんは、今年が出店初挑戦。女性ながら、地元の伝統技術を継承したいと、富士



■出店初挑戦の佐野さん。お客様に一生懸命説明していた

が育んでいることが、とても清々しく、なんだか嬉しい。

「商売の宝は信用。信用されるまではたいへん。でも失うのは簡単。大切なのはまじめに続けること。」先出のベテラン出店者の小林さんの言葉だ。

地域には失ってはいけないモノがある。それを守るのも地域に根差した商工業者の役割のひとつだ。人々の努力と熱意で復活した十日市。これからも地元で愛され続けるものであってほしい。

山梨を支える 企業とともに

山梨県信用保証協会

『ニュービジネス保証』について

- 保証料を特別に割引します。
- 中小企業者の方が新たな事業分野に進出するための資金を保証します。
- 取扱期間：平成26年3月31日まで。

●資格要件

1. 現在の事業を継続しながら、新たな事業等の多角化を図ろうとする方
2. 新規需要に応じるため、既存設備の一部を廃して新設備を導入し、取扱品種の転換を図ろうとする方
3. 現在の業種から他の業種に転換を図ろうとする方

●保証要件

- ・資金使途・期間：運転資金5年以内・設備資金10年以内（据置1年含む）
 - ・保証料率：通常保証料率から0.15%引き下げます
 - ・貸付利率：金融機関所定利率（県制度併用の場合、1.7%）
 - ・担保：必要に応じ
 - ・保証人：原則として法人代表者1名のみ
- ※申込書類等の詳細については、ホームページをご覧ください。

本店 甲府市飯田2-2-1（山梨県中小企業会館）
TEL 055-235-9700 FAX 055-232-0160
URL: <http://www.yiso.or.jp/~shinpo/>
E-mail: shinpo-yamanashi@rondo.ocn.ne.jp

富士吉田支店 富士吉田市下吉田2-31-14
TEL 0555-22-0992 FAX 0555-22-0921

「若年者・非正規雇用労働者」の採用や人材育成 に取り組む事業主の皆さまを様々な施策で支援します

厚生労働省では、若年者・非正規雇用労働者の雇用支援策として、以下の事業を新たに実施しています。
事業主の皆さまがこれらの取組みを実施することにより、労働者の士気・能力の向上等を通じた企業の生産性の向上、優秀な人材の確保・定着が期待できます。

皆さまの取組みへの支援策の主な内容は以下のとおりです。

施策名	対象	取組内容	支援
若者応援企業 宣言事業 (※1)	若者の採用・育成に積極的であり、詳細な企業情報・採用情報を公開する中小・中堅企業	ハローワークに学卒求人・一般求人を提出し、「宣言基準」を満たした企業を「若者応援企業」として、提出された求人を「若者応援企業求人」として公開	- 重点的に若者とのマッチング - 労働局のホームページに「若者応援企業」として企業名等を掲載し、PR
若者チャレンジ 奨励金 (若年者人材育成・定着支援奨励金)(※2)	35歳未満の非正規雇用の若者を雇い入れる事業主	自社内の正社員として雇用することを前提に、自社内での実習(OJT)と座学(OFF-JT)を組み合わせた訓練を実施	助成金の支給 - 訓練奨励金 受講者1人1月あたり15万円 - 正社員雇用奨励金 50万円(1年)50万円(2年)計100万円

※1 「若者応援企業」の名称の使用期間は求人の提出日から原則、その事業年度末までとなりますのでご注意ください。

※2 若者チャレンジ奨励金は、平成25年度末までの時限措置であり、予算額の範囲内での支給となりますので、予算額に達した場合は、中止となります。ご注意ください。

各施策を活用する上で必要な要件については、施策ごとのリーフレットまたは山梨労働局下記担当窓口へお問い合わせください。

●若者応援企業宣言事業

山梨労働局職業安定部職業安定課 電話055-225-2857

●若者チャレンジ奨励金(若年者人材育成・定着支援奨励金)

山梨労働局職業安定部求職者支援室 電話055-225-2861

ちょっと考えてみませんか？ 私たちの将来

ライフプラン・コンサルタントサービス

— ジブラルタ生命からのご提案 —

ご家族の明るい未来のために



毎月の生活資金

- ・住宅資金
- ・死後の整理資金
- ・緊急予備資金
- ・相続対策資金
- ・長期療養資金
- ・子どもの結婚資金



子どもの教育資金



老後の生活資金

企業経営の将来のために



事業保障対策資金

- ・緊急予備資金
- ・遺族生活保障資金
- ・長期療養資金
- ・福利厚生資金



退職金準備資金



事業承継対策資金



Gibraltar
ジブラルタ生命

GI-J-2013-165 (2013.3.22)

ジブラルタ生命保険株式会社
甲府エリア

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内3丁目20-3 ジブラルタ生命甲府ビル3階

055-222-4837



ジブラルタ生命は
ベルマーク運動に
協賛しています

商工会人事 人のうごき (順不同)

【採用】(四月一日付)

都留市(事務局長)
太田 光男大月市(事務局長)
後藤 正巳南部町(事務局長)
若林 誠南都留中部(記帳専任職員)
渡邊 絵里香河口湖(記帳専任職員)
渡邊 香

【人事交流】(四月一日付)

○経営指導員

(括弧内は旧所属商工会)

大月市 松本 聡(西桂町)
甲斐市 秋山 順二(笛吹市)
笛吹市 佐野 千文(甲斐市)
笛吹市 中田 美秀(北杜市)
甲州市 天野 弘(河口湖)
市川三郷町 小宮山 博(南アルプス市)

○補助員

富士川町 植松 克年(山梨市)
昭和町 清水 一秀(笛吹市)
河口湖 山口富士雄(甲州市)
連合会 宮沢 洋(富士川町)

都留市 富田 和子(上野原市)
大月市 鈴木 順子(都留市)
上野原市 渡辺 桃子(大月市)
市川三郷町 有泉 千秋(富士川町)

○記帳専任職員

身延町 森田加代子(南部町)
南部町 望月美紀子(身延町)
富士川町 有泉佳恵子(市川三郷町)

○相談員(再雇用)

甲州市 古屋 信子(甲州市)
金子七生美(笛吹市)

○参与

早川町 山田 朝光
望月 和子

【退職】(三月三十一日付)

都留市 金子 明(事務局長)
大月市 加藤 敏安(事務局長)
大月市 西山 正盛(経営指導員)
甲州市 山田 朝光(経営指導員)
市川三郷町 藤原 幸元(経営指導員)
連合会 原 栄治(商工会指導員)
早川町 望月 和子(記帳専任職員)
南都留中部 宮下 弘美(記帳専任職員)
(一月三十一日付)
河口湖 田中 亜美(記帳専任職員)

事業主の皆様へ 障害者雇用についてのお知らせ

「障害者雇用納付金制度」の対象事業主が拡大されます

平成27年4月から、常時雇用している労働者数が100人を超える事業主が対象になります

◆適用対象なると

平成28年4月から、前年度(平成28年度は、平成27年4月から平成28年3月まで)の雇用障害者数をもとに、……

- 納付金の申告を行っていただきます。
- 障害者の法定雇用率を下回る場合は、納付金の納付が必要となります。
- 障害者の法定雇用率を上回る場合は、調整金が支給されます。

障害者の法定雇用率が引き上げになります

民間企業に係る障害者の法定雇用率について、平成25年4月から、現行の1.8%から2.0%に引き上げられます

障害者雇用の取組み等、
早めの準備を
お願いいたします。

障害者雇用の取組みについてのお問い合わせ先

- 障害者雇用納付金制度の詳細、各種助成金について知りたい

高齢・障害者雇用支援センター
TEL.055-236-3163

- 障害者雇用の具体的な進め方などを相談したい

障害者職業センター
TEL.055-232-7069団体割引12.5%!!
安い掛金で大きな安心

自動車共済

24時間事故受付で、緊急連絡にそなえ万全の事故処理体制をとっています。
万一の事故のときは、顧問弁護士や専門職員が示談交渉にあたり、解決します。

関東自動車共済協同組合 山梨県支部

〒400-0035 甲府市飯田4-4-2 自動車共済ビル 電話055(237)8331(代)

**グルメガイドで
新メニュー続々!**

上野原グルメ散策

商工会 なつ No.70

上野原市商工会

「旨ッ!うえのはら」



■お食事処 あきやま
きのこづくしそば



■旬鮮処 海菜
丸ごとレタスの海鮮コラボ



■喫茶 珈琲屋
やまなしパフェ



■来軒 軒
こだわりのラーメン&餃子

上野原市商工会が作成したグルメパンフレット「旨ッ!うえのはら」。掲載した12店舗のうち8店舗が新メニューを開発した。

パンフレットの作成にあたり、商工会では、ただ単純に商品を掲載するのではなく、各店舗を飲食・物産のマーケティングの専門家と訪問、掲載するメニューを打ち合わせするとともに、各店舗の個性や強みなどを分析、経営指導を行った。このアドバイスがヒントとなり、新しいメニューに繋がったのだ。

新メニューは、地域の特産品である柚を利用したスイーツ、季節のフルーツとお寿司をあわせた創作料理や、既存のメニューを組み合わせ新しい味を生み出したものなど多彩。だがそれぞれの個店の「強み」を活用していることは共通している。

新メニュー開発店以外の店舗の品も、店主が守り続けているこだわりの味。パンフレットはバラエティに富んだものに仕上がった。

お客様の反応も好評。パンフレットがあると安心して気軽にお店に入っていくと、観光客のみならず、地元の方でもパンフレットを手に来店することも多い。また、新しいメニューは、各店舗の新規顧客の獲得にも繋がっているという。

パンフレットの名前には、「地元のお店のおいしさに驚いてほしい」という思いが込められている。この秋には、第二弾を作成予定。また「新しい味」が訪れる人々を喜ばせることだろう。



■一福食堂
牡蠣ラーメン



■RUBAN
ゆずロール ゆずパウンド



■坂本屋
かき揚げ天丼



■高嶋屋酒饅頭店
昔ながらの酒まんじゅう



■菓子処 植松
上野原のゆずもち



■お食事処 あやの
甲州丼



■レストラン ボンシェ タカ
甲州ハーブチキンセット



■なりたや
バラ辛チャーハン



今回は
富士川町商工会の
一店逸品カタログから
お店を探しました。



和紙を一枚一枚
慎重に染める

杉山江見堂

〒400-0601 山梨県南巨摩郡富士川町鎌沢1531-1

営業時間：9時～19時

定休日：日・祝日

TEL：0556-22-0169

FAX：0556-22-3152

email：emido.net@gmail.com

富士川町の「杉山江見堂」さんは、明治創業の団扇・扇子の専門店。家業を継いだご主人は「世の中にひとつだけのものがほしい」と草木染を習い始め、和紙の風合いを生かした作品の創作に取り組んでいる。さだ、すおう、栗などの草や木、実を煮出して染料とし、丁寧に折られた本美濃紙を一枚一枚染めていきます。途中で止めてしまおうとムラが出てしまつと、集中した表情のご主人。また、媒染剤の種類で同じ模様のものも、それぞれイメージの違う作品に仕上がるのも驚きです。

扇子や団扇の骨にもこだわり、扇子は国産の竹を使い、団扇は骨を細く削り軽くするなど、とても使いやすい製品ばかりです。厳選された素材と技術、「心地よく使ってもらいたい」というご主人の思いがやさしい風を送り届けてくれます。扇子を携帯する人が近年増えてきました。今夏は皆さんも是非お試しください。(調査員)

しあわせ
調査員の

**クチコミ
情報**

山梨県商工会連合会共済制度・福祉制度の一環としてお届けする
保険の世界ブランド。アクサがあなたをサポート。

新大型保障プラン

アクサのフィナンシャル・プロテクション

定期保険



普通傷害保険

AXA アクサ生命保険株式会社
redefining / standards

AXA アクサ損害保険株式会社
redefining / standards

アクサ生命保険株式会社 甲府支社 〒400-0858 甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所会館 TEL055-226-5075

世界トップクラスの
保険・金融グループ、
アクサで実現。

<http://www.axa.co.jp>

